

貴同盟に於て最近に於アジヤ併呑者大会を開かれると云ふことを聞き
 反ひました。亦、右大会の召集を祝します。此の大会は、アジアの
 産物製造動向の多大の利益を存すべからうことを期待します。我々
 は、當評議会は此の大会に参加したい希望を持つてゐることを公
 式に通報いたします。それより此の大会に用する詳細なる願書を告知
 させ下されば幸甚に存じます。

大正十五年一月二十四日

日本併呑組合評議會

日本併呑同盟臨時中

此の申立に対し、貴同盟会長、坂本大谷氏より、此の回答に答へた。

持復、我々が併呑者大会開催に用する件は、第四回國際併呑
 会議の際、印度代表と相談致し其実行方法は一切私に任せられ
 ります。
 尚、本同盟臨時大会に於ても同様の如き決議を致して居りました
 の用事は極めて重要なることであるのであり、目下當座に考慮中である

於 木 文 治

野田 作 次 郎

ノバステルガム國際併呑組合同盟への回答

一九二五年六月九日附テノバステルガム國際併呑組合同盟執行委員会より貴
 議会所属の各組合へ、組合調査に關する依頼並に提携希望の書面が来り。
 第五回常任委員会は、各組合個々に回答せしめ中央委員より代表的に回答する
 ことを決議し、八月十日附を以て、大要の如き一全文併呑新聞第五号掲載し
 回答又を送つた。

一從正世界中に二つのインダナシヨナルが対立してゐるのは、世界の製産階級
 解放運動上大なる損失である。貴同盟統一の大インダナシヨナル組織の
 ために在米の態度を更めてモット誠意を求むれば、貴同盟統一イン
 ナシヨナル組織に充分なる誠意を示すなら、吾評議会は喜んで貴同盟
 と提携するであらうし
 而して以上の回答文に基へて評議会の承認、及提携を送付して置いた。